

平成9年度第3回幹事会報告

平成9年10月2日
淀川キリスト教病院

[報告・協議事項]

事務局(総務・会計・企画): ①入会; 長野赤十字病院、石切生喜病院、広島赤十字・原爆病院 ②総務・会計・企画からの連絡事項; 第83回研修会の参加費のうち、宿泊費も予算に含めることにした。③当協議会はインターネットでの独自ドメイン(hosplib.org)を取得し、ホームページを米国のレンタル・サーバーに移転(<http://www.hosplib.org>)。④日本病院会より、今年度の全国図書室研究会(新潟 97/10/16-17)の後援名義の借用について依頼があったので、受諾した(97/07/19)。

⑤医学中央雑誌刊行会によるヒヤリング会

(97/08/30 国立京都病院)があり、同刊行会から4名、当協議会から6名出席し意見・要望を出した。⑥近畿地区医学図書館協会主催の第3回シンポジウムが9月20日、奈良先端科学技術大学院大学で開催され、21名の会員参加者があった。⑦病院図書室研究会との共同事業の経過報告: 病院図書館員認定資格制度研究班は両会員にアンケート調査を実施することにし、その準備段階の状況を報告。インターネット・プロジェクトは、推薦ホームページ、オンライン・ジャーナル、海外医学図書館の分析を課題として次回会議までに担当者は調査。

研修部: 第83回研修会(96/08/09-10 コミュニティ嵯峨野)の報告。出席者40名ではじめての合宿形式を採ったが好評であった。見学会(近畿地区医学図書館協議会第3回シンポジウム)についての報告。第84回研修会の企画が提出されたが、総合目録の編集状況の紹介と刊行後の相互貸借のあり方、医学中央雑

誌CD-ROM版、インパクトファクターなど「文献」を扱うことにした。東海地区での研修は11月8日、小牧市民病院で開催する予定で、企画・準備状況が報告された。

会誌編集部: 会誌17(1)'97の発行報告。特集「病院図書室と電子情報」の内容は好評を得たが、執筆を編集部で担当したため、発行の遅れをもたらしたことが説明された。17(2)'97では「紛らわしい相互貸借- 書誌事項の確認」を特集し、原稿は揃っている状況が報告。17(3)'97は、「パソコンと病院図書室」とし第83回研修会の報告集を主な内容とすることが提案された。また、編集体制や作業の流れ、シリーズ記事の扱いかたなどの問題点が報告された。

統計調査部: 今年度の年次統計調査の集計結果は10月中に会員に配布されることが報告された。

目録編集部: 8月以降の初校作業の経過が報告され、提出データにおける多くの問題点があげられた。また、加盟機関一覧と略称索引の掲載様式のサンプルが紹介された。

[決定事項]

(1) 文献相互貸借の基準料金について: 総合目録発行後の円滑な文献相互貸借に向け、現行35円の基準料金を見直すことにし、会員に改訂料金額(50円)についてアンケートを実施することにした。各会員の新料金は発行予定の総合目録に掲載することにした。

(2) 協議会パンフレットの作成: 入会のしおりを拡張した内容と体裁にし、会則、入会基準、組織、活動、事業、会員などを紹介したもの。この一冊により、新会員はもとより現会員の簡単な協議会マニュアルとして使えるものを目指す。関係する各事業部から内容と概要を次回幹事会に提出することにした。